

原油相場と株式相場の関係は？

シニア・ストラテジスト 石黒英之



ポイント① 原油高と株式相場の関係は？

原油価格の上昇が続いています。IEA（国際エネルギー機関）は10月14日に発表した月報で、2021年～2022年の世界の石油需要見通しを引き上げました。世界的なエネルギー不足を背景に原油の需給ひっ迫が続くとの見方から、国際的な価格指標であるWTI原油先物は1バレル82米ドル台を突破しました。市場では原油高に伴うコスト増が更なるインフレにつながり、経済や企業活動に下押し圧力がかかると懸念されています。

原油高は株価にマイナスに働くのでしょうか。新型コロナウイルスを乗り越え需要が急回復しつつある今回と同じような局面の、リーマン・ショック後やチャイナ・ショック後のケースをみると、原油高・株高となっています（右上図）。原油高は景気の回復を表している側面もあり、コスト増をそれを上回る需要増で吸収できるからこそ、原油高と株高が同時に起こりやすいと考えられます。

ポイント② 原油高はオイルマネーに恩恵も

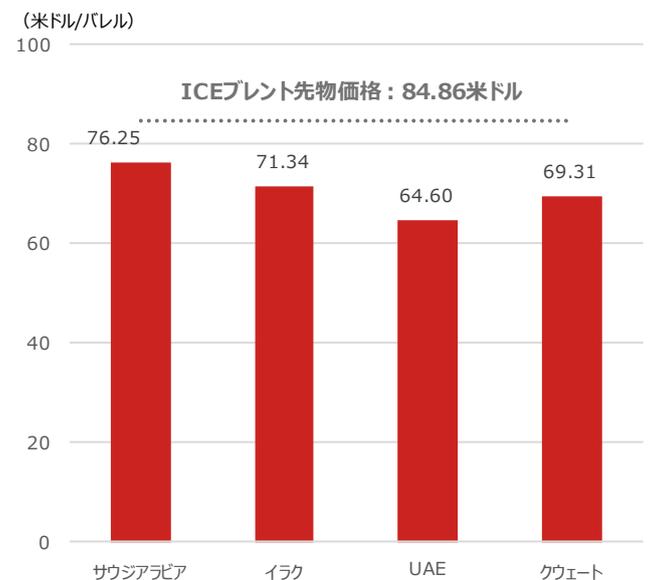
一方、原油収入に頼る産油国の観点からは、原油高は財政面において追い風となります。中東主要産油国が参照することが多いICEブレント先物価格は1バレル84.86米ドルとなっており、同産油国の今年の財政収支均衡原油レートを上回っています（右下図）。中東産油国は原油で稼いだ余剰資金の一部をソブリン・ウェルス・ファンドを通じて世界のリスク資産に投資している国が多いです。「原油高＝コスト増」というマイナスの側面ばかりにスポットが当たりがちですが、「原油高＝景気回復、オイルマネーの活発化」というプラスの面にも目を向けるべきでしょう。

WTI原油先物価格と世界株



期間：2009年1月2日～2021年10月15日、週次
 ・世界株：MSCI All Country World Index、米ドルベース
 ・網掛け部分はリーマン・ショック後、チャイナ・ショック後の原油高・株高局面
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

中東主要産油国の財政収支均衡原油レートと原油価格



期間：（財政収支均衡原油レート）2021年
 （ICEブレント先物価格）2021年10月15日
 （出所）Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。